

# いしのまき 普及センター通信

## 地域農業の将来を支える 新規就農者の確保・育成



東松島市、今野さん(野菜)



石巻市、佐々木さん(繁殖牛)



東松島市、津田さん(野菜)



東松島市、及川さん(農業法人社員)

県では令和3年4月に、「農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針」を策定し、今後も本県農業を持続的に発展させていくため、次代の本県農業の大宗を担う効率的かつ安定的な経営体数6,300経営体を維持するためには、新規就農者を年間160人確保することを目標としています。

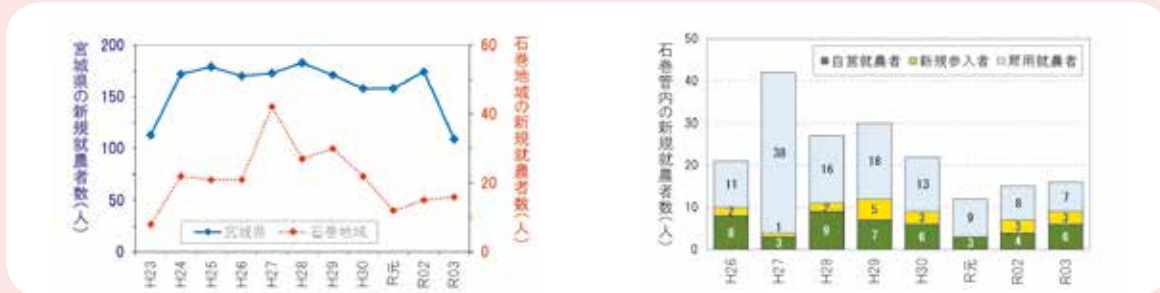
石巻管内では、石巻市、東松島市両市の基本構想において、新規就農者を年間14人確保することとしており、近年はUターンや新規参入のほか、自営就農、農業法人への雇用就農等、様々な形での就農がみられ、令和元年を除いて目標を達成しています。

普及センターでは関係機関と連携し、地域農業の将来を担う期待の若手農業者の経営目標の早期達成と安定化に向けて、栽培・飼養管理技術や簿記記帳等の経営管理、石巻地区4Hクラブ活動への誘導による仲間づくりなど、多角的な視野で支援を行っています。

## 新規就農者数の状況

令和3年度における県内の新規就農者数は109人と、前年に比べて減少した一方で、石巻・東松島地域の新規就農者は16人と増加しています。就農形態の内訳は、自営就農は6人、新規参入は3人、雇用就農は7人でした。

県全体の新規就農者数が減少している理由の1つに、雇用就農が大きく減少していることが挙げられます。これは、前年までに雇用した新規就農者の定着が進んだことやコロナウイルス感染症による経営の悪化が影響していると考えられています。



## 新規就農への支援体制

当管内では、石巻市、東松島市、各市の農業委員会、JAいしのまき、一般社団法人イシノマキ・ファーム、そして当普及センターも含め、新規就農支援を行っています。関係機関の連携が非常に重要であるため、新規就農者の確保定着に向けた戦略会議を開催し、支援の方向性や課題の共有、支援策の情報交換を行いながら、地域として一貫した支援体制で取り組んでいます。



▲ 新規就農支援の様子

## 将来の担い手候補に対して

昨年度から、石巻北高校の生徒を対象に、管内の農業法人に視察研修を実施し、地域農業への理解を深める取り組みを行っています。視察研修後の生徒へアンケートでは、農業への興味や就農への意識が高まっており、将来の担い手候補に対する啓発も継続していきます。



▲ 土地利用型農業法人への視察研修



▲ 園芸農業法人での視察研修

## アスパラガスの産地化を目指す

令和2年から農業所得向上のため、JAいしのまき等と連携し、アスパラガスの導入に取り組んできました。

アスパラガス栽培管理勉強会では、定植や支柱・病虫害防除、黄化・刈取りなどの栽培技術を学びました。

販売戦略会議や先進地事例講習会では、山形県最上の産地や石巻市場等の取扱い状況から、地元の直売所中心のアスパラガス販売の有利性を確認しました。

ブログや新聞記事等の情報発信により地元産アスパラガスの人気は高まり、露地の採りつきり栽培や長期安定出荷ができるハウス立茎栽培の令和4年の栽培面積は91.5aに増え、産地化の足掛かりができました。



## 農福連携による農業の取り組みが始まっています

石巻地域では県内に先駆けて、農福連携の取り組み拡大を図ろうと、令和4年12月1日に石巻合同庁舎において「石巻地域農福連携推進研修会」を開催しました。

研修会では、福島県授産事業振興会の渡部氏から、福島県における農福連携の支援体制やマッチングの方法、障がい福祉サービス事業所における6次化商品開発やブランド化等、豊富な経験を基にした具体的な取り組みをお話いただきました。

その後、月1回、農福連携で農作業を委託している農業者に出向き、実際の作業状況を見学しました。委託している農業者からは「仲間の農業者にも農福連携の意義を伝え、農作業の効率化も図りたい」取り組んだ感想をいただきました。



▲実際に4人1組で作業している現場

## 長面地区のプロジェクト活動についての成績検討会を行いました!!

令和5年1月31日に長面地区の(株)宮城リスタ大川、(農)みのり、(株)ゆいっこ及び関係機関を対象に、成績検討会を開催しました。

飼料用米の収量向上には、堆肥2t/10aと速効性及び緩効性肥料の組み合わせにより収量性が高まること、大豆後の乾田直播栽培により、基肥等を削減できるため、低コスト化が図られることが分かりました。

対象法人からは、「堆肥施用効果を実感している」、「肥料高騰に対応するために、堆肥を積極的に利用して、経費を抑えた肥料設計を行いたい」等の意見が出されました。その他、WCSや飼料用米生産の課題やスマート農業等の今後の地域農業の発展に関し活発な意見交換がなされました。



## 農業経営の事業承継及びインボイス制度に関する研修会を開催しました!!

令和4年12月16日に石巻合同庁舎において農業法人等を対象に、「農業経営の事業承継及びインボイス制度」に関する研修会を開催しました。

石巻管内には100を超える農業法人があり、令和3年のアンケートでは約4割が5年以内に事業承継する意向があり、円滑な事業承継が課題となっています。また、令和5年10月から消費税のインボイス制度(適格請求書等保存方式)が始まるため、その準備が必要です。

この研修会では、事業承継やインボイス制度に向けて必要なことや事前に準備することについて、理解を深めることができました。

※インボイスとは、売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額等を伝えるものです。インボイスを発行するためには、インボイス発行事業者の登録申請が必要です。

※インボイス申請を提出すれば免税事業者から課税事業者となります。



令和4年度 宮城県農林産物・花き品評会受賞結果

令和4年10月に、せんだい農業園芸センターを会場に宮城県農林産物品評会及び花き品評会が開催されました。管内からは、玄米、野菜、果物及び花きなど、計52点が出品され、7点が入賞しました。今回入賞された方々を御紹介します。

- 野菜 莖葉菜類
  - 1席(宮城県知事賞1等・農林水産大臣賞)  
ねぎ 東松島市 後藤喜久雄さん
  - 3席(宮城県知事賞3等)  
こねぎ 石巻市 高橋 真也さん
- 花き 入賞 (金賞1点, 銀賞4点)
  - 金賞 ガーベラ 石巻市 和泉 清明さん
  - 銀賞 ガーベラ 石巻市 佐々木 功さん
  - // // 酒井 寛治さん
  - // // 成澤 深さん
  - // // 西條 弘悦さん



野菜部門の葉莖菜部門において、東松島市の後藤喜久雄さんが1席の農林水産大臣賞を受賞されました(品目:長ねぎ)。後藤さんはJAいしのまきの営農指導員として、長年地域の園芸生産指導に従事された傍ら、御自身も兼業農家として主に長ねぎの生産を続けてこられ、今回、念願の農林水産大臣賞の受賞となりました。

第67回竹駒産業文化賞 山崎恵章氏・仁子氏(東松島市)

農林水産業をはじめとする郷土の産業振興に功績のあった個人、団体に竹駒神社(岩沼市)が授与する第67回「竹駒産業文化賞」の農業部門(個人)に、東松島市の山崎恵章さんと仁子さん御夫婦が受賞されました。



恵章さんは、JAいしのまきやもと長葱生産組合の中心的な役割を担い、長ねぎの生産振興に貢献されました。仁子さんは、県指導農業士として、また地区の消費者交流のけん引役として地域農業の振興に貢献されました。また、お二人は、地域の担い手育成にも尽力されている等、地域農業への貢献が高く評価され、今回の受賞に至りました。

HP掲載技術情報等の紹介

石巻普及センターのホームページに、農作物の技術情報に、水稻、麦類、大豆、アスパラガス、自然災害に対する農作物等の技術対策、石巻地域水稻乾田直播栽培事例集を掲載していますので、御覧ください。



技術情報



石巻地域  
水稻乾田直播  
栽培事例集



発行日 令和5年3月  
発行 石巻農業改良普及センター(宮城県東部地方振興事務所農業振興部)  
〒986-0850 宮城県石巻市あゆみ野5丁目7番地  
電話 0225(95)7612・FAX 0225(95)2999  
URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/is-nokai/>  
この冊子は600部作成し、1部あたりの単価は約110円です。

